



STILL ALIVE

国際芸術祭 あいち2022

国際芸術祭「あいち」組織委員会事務局
〒461-8525 愛知県名古屋市中区東桜1-13-2 愛知芸術文化センター内
TEL: 052-971-3111 / FAX: 052-971-6115
Secretariat, Aichi Triennale Organizing Committee
1-13-2 Higashisakura, Higashi-ku, Nagoya,
Aichi 461-8525, JAPAN
TEL: +81-52-971-3111 / FAX: +81-52-971-6115

国際芸術祭「あいち 2022」協賛のお願い

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

国際芸術祭「あいち 2022」は、2010年に創設された「あいちトリエンナーレ」を前身に、愛知県を代表する複合文化施設、愛知芸術文化センターに加え、一宮市、常滑市、名古屋市有松地区を主たる会場として、2022年7月から10月に開催されます。国際的な現代美術展に加え、舞台芸術、ラーニングプログラムなど多様な事業を通して、日本を世界に発信し、世界を日本に届けます。

国際芸術祭「あいち 2022」のコンセプトは「STILL ALIVE—今、を生き抜くアートのちから」です。愛知県出身で国際的なコンセプチュアル・アーティストとして世界の美術史にその名を刻む河原温が、1970年以降、30年間にわたって自身の存在を電報で世界の知人に送り続けた「I AM STILL ALIVE」シリーズから着想を得ています。

1990年代以降、グローバル化が広がった現代アートや舞台芸術には、複雑化かつ多様化した世界の様相が投影されています。したがって、今日の国際芸術祭は、欧米中心の芸術ではなく、世界のさまざまな地域の歴史や社会、文化を反映した表現に触れる、いわば「世界の縮図」に出会う貴重な機会であると考えています。日本社会においても、近年はSDGsの重要性がうたわれており、多様性（ダイバーシティ）や包摂性（インクルージョン）への対応は喫緊の課題となっています。現代世界がいかに多様であるのかを実感し、他者の存在に想像を広げ、共感するためにも、国際芸術祭が果たす役割はこれまでにない大きなものとなっています。

国際芸術祭「あいち 2022」は、新型コロナウイルス蔓延以降、再生のシンボルともなるべき芸術祭であり、日本の誇る文化芸術や歴史を再訪しながら、国内の社会活動や経済活動を回復させる重要な契機でもあります。この国際芸術祭が、それぞれの人にとって困難な時代を生き抜く力に繋がるよう、是非ともみなさまのご理解とご協力を賜りたく、お願い申し上げます。

敬具

国際芸術祭「あいち」組織委員会会長
大林剛郎

国際芸術祭「あいち 2022」芸術監督
片岡真実